

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	コミュニケーション I (CH)		(TCR214)
講義名（コード）	TCR_コミュニケーション I_C		(TCR214C)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	中村 久子	時間数	30
成績評価教員	中村 久子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題が理解できるようになる。
全体の内容と概要	N2レベルの文法と聴解を学ぶ。試験形式の演習を行いJLPTのN2に合格する力をつける。また、フォーマルな言い方や書き言葉を学び、状況に応じた日本語を使い分けられるようにする。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	この授業の目的・ゴールを確認する。	4/19 オリエンテーション 教科書の進め方
2	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	4/26 必修パターン N1 基礎編 1～2 どんなときどう使う文法練習帳
3	話のポイントや概要が理解できるようになる。	5/10 必修パターンN1聴解 基礎編 3～4 どんなときどう使う文法練習帳
4	N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	5/17 必修パターン N1聴解 基礎編 5～6 どんなときどう使う文法練習帳 月1テスト
5	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	5/24 必修パターンN1聴解 基礎編 7 どんなときどう使う文法練習帳
6	N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	5/31 必修パターンN1聴解 課題理解 1～3 どんなときどう使う文法練習帳
7	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	6/7 必修パターンN1聴解 課題理解 4～6 どんなときどう使う文法練習帳
8	N1レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	6/14 必修パターンN1聴解 課題理解 7～10 どんなときどう使う文法練習帳 月1テスト
9	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	6/21 演習・解説（JLPT模試 文字語彙）
10	模試を行い試験に向けて実践的な力をつける。	6/28 演習・解説（JLPT模試 文字語彙） 7/3 JLPT
11	具体的な情報を聞き取り、メモを取りながら内容が理解できる。	7/5 必修パターンN1聴解 課題理解 11～14 どんなときどう使う文法練習帳
12	質問に対する的確な答えが言える。	7/12 必修パターンN1聴解 ポイント理解 15～18 どんなときどう使う文法練習帳
13		7/19 前期のまとめ 期末対策 月1テスト
14		7/26前期期末試験
15		8/2前期期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必修パターンN1 聴解 どんなときどう使う文法練習帳
参考文献・資料等	
備考	クラスの状況に応じて進度を変えることがあります。